

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 日本通運株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒105-8322 東京都港区東新橋1丁目9番3号	
本票作成	部署名：岡山支店 業務課				
主たる業種	分類コード	4	4	業種名：道路貨物運送業	
事業の概要	自動車輸送、鉄道利用輸送、海上輸送、船舶利用輸送、利用航空輸送、倉庫、旅行、通関、重量品・プラントの輸送・建設、特殊輸送、情報処理・解析などの物流事業全般				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島海運支店		倉敷市玉島乙島新湊8259番地15	
	②	岡山警送事業所		岡山市北区北長瀬表町1丁目6番23号	
	③	コンテナ課		岡山市北区野田4丁目1番90号	
	④	倉敷引越物流センター		倉敷市南畝3丁目7番37号	
	⑤	岡山物流センター		岡山市中区新築港6番6号	
	⑥	宇野海運支店		玉野市田井6丁目1番30号	
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input checked="" type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タンク250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 18 所 ●車両台数 (②該当の場合) 160 台)				

計画期間	平成 25 年度		～	平成 26 年度 ( 2 箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準			2.0 %				
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 24 年度)			目標年度 (平成 26 年度)					
	5,560 t CO <sub>2</sub>			5,449 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 24 年度) の排出量					
	①	水島海運支店		1,232 t CO <sub>2</sub>					
	②	岡山警送事業所		802 t CO <sub>2</sub>					
	③	コンテナ課		615 t CO <sub>2</sub>					
	④	倉敷引越物流センター		375 t CO <sub>2</sub>					
	⑤	岡山物流センター		347 t CO <sub>2</sub>					
	⑥	宇野海運支店		395 t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
			基準年度	目標年度
			t CO <sub>2</sub> / ( )	t CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

改正省エネ法でのエネルギー消費原単位を年平均1%以上低減させることを目標とする。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

全社の経営計画として「戦略的環境経営の推進」を掲げ、その推進のため本社CSR部に環境・社会貢献・環境施策担当を置いて、様々な取組みを進めている。特に、平成23年度下期に運用を開始した、エネルギー使用量等の見える化システム“Nittsu Ecology & Economy System” (NEES)を活用して、エネルギー使用の一層の削減対策を進める。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
○全事業所 ①水島海運支店 ②岡山警送事業所 ③コンテナ課 ④倉敷引越物流センター ⑤岡山物流センター ⑥宇野海運支店	○「戦略的環境経営2012」にて下記3項目に取組み チャレンジ1 総電気使用量(kwh)の対前年度10%削減 チャレンジ2 燃料消費率(軽油)の対前年度1%改善 チャレンジ3 コピー用紙使用枚数の対全年度10%削減 ①老朽化車両3台を減車 ②老朽化車両1台を減車・4台を新型車両へ代替 ③老朽化車両2台を新型車両へ代替 ④老朽化車両2台を減車・2台を新型車両へ代替 ⑤老朽化車両1台を新型車両へ代替

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
○全事業拠点 ①水島海運支店 ②岡山警送事業所 ③コンテナ課 ④倉敷引越物流センター ⑤岡山物流センター ⑥宇野海運支店	○「戦略的環境経営2013」にて下記3項目に取組み チャレンジ1 総電気使用量(kwh)の対前年度5%削減 チャレンジ2 燃料消費率(軽油)の対前年度1%改善 チャレンジ3 コピー用紙使用枚数の対全年度10%削減 ②老朽化車両5台を新型車両へ代替及びエコタイヤの積極導入 ③老朽化車両3台のうち2台を減車、1台を新型車両へ代替及びエコタイヤの積極導入 ④老朽化車両1台を新型車両(ハイブリッド車)へ代替 ⑤老朽化車両1台を新型車両へ代替

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

平成23年度のCO2排出量実績を基準として排出削減計画を策定する際、平成23年4月～6月3ヶ月間、同年7月から増車した7台分のディーゼル車からの排出量を勘案すべきところその算入を失念していたこと並びに平成24年度の岡山警送事業所における営業拡大による日々定期運行車両台数の1台追加投入等の事情により、平成24年度のCO2排出量実績は、基準年度とした平成23年度の排出量実績対比で8.1%と大幅に増加した。そのため、改めて平成24年度の排出量実績を基準として、平成25年度から平成26年度までの二カ年の温室効果ガス排出量削減計画の変更を行うもの。